2024 年度入学試験問題　205

T日程・英語外部試験利用入試　1限

科　目	ページ
数　学　①	2～13
数　学　②	14～45
地　　理	46～61
国　　語	87～63

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで，問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 志望学部・学科によって選択する科目・試験時間が決まっているので注意すること。

志望学部（学科）	受験科目	試験時間
下記以外の学部（学科）	数学①または国語	60 分
文学部（日本文）	国　語	90 分
文学部（地理）	地　理	60 分
情報科学部（コンピュータ科・ディジタルメディア）	数学②	90 分
デザイン工学部 （建築・都市環境デザイン工・システムデザイン）		
理工学部 （機械工〔機械工学専修〕・電気電子工・応用情報工・経営システム工・創生科）		
生命科学部 （生命機能・環境応用化・応用植物科）		

4. 科目の選択は，受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
5. **数学②・国語**については，志望学部・学科によって解答する問題番号が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合，採点の対象としないので注意すること。
6. **数学①②**については，定規，コンパス，電卓の使用は認めないので注意すること。
7. マークシート解答方法については，問題冊子を裏返して裏表紙の注意事項を読みなさい。ただし，問題冊子を開かないこと。
8. 問題冊子のページを切り離さないこと。

マークシート解答方法についての注意（共通事項）

マークシート解答では，鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること（万年筆，ボールペン，シャープペンシルなどを使用しないこと）。

記入上の注意

1. 記入例　　解答を **3** にマークする場合。

（1）正しいマークの例

（2）悪いマークの例

枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は，消しゴムでよく消してから，あらためてマークすること。

3. 解答用紙をよごしたり，折りまげたりしないこと。

4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

「数学②」（情報科学部・デザイン工学部・理工学部・生命科学部）マークシート解答上の注意

「**数学②**（情報科学部・デザイン工学部・理工学部・生命科学部）」は「**数学①**（それ以外の学部）」と異なる科目です。

問題中の　ア，イ，ウ　…　のそれぞれには，特に指示がないかぎり，－（マイナスの符号），または０～９までの数が１つずつ入る。当てはまるものを選び，マークシートの解答用紙の対応する欄にマークして解答しなさい。

ただし，分数の形で解答が求められているときには，符号は分子に付け，分母・分子をできる限り約分して解答しなさい。

また，根号を含む形で解答が求められているときには，根号の中に現れる自然数が最小となる形で解答しなさい。

〔**例**〕 $\dfrac{\boxed{ア}\sqrt{\boxed{イ}}}{\boxed{ウエ}}$ に $\dfrac{-\sqrt{3}}{14}$ と答えたいときには，以下のようにマークしなさい。

ア	●	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
イ	⊖	⓪	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
ウ	⊖	⓪	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
エ	⊖	⓪	①	②	③	●	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

※　「数学①」の選択肢には－（マイナスの符号）はありません。

（文学部地理学科　地理）

文学部地理学科を志望する受験生のみ選択できる。

〔Ⅰ〕　地形図に関する以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

図１

地理院地図（標準地図）を基に作成した。

問１　図１から読み取れる内容を説明した文のうち，正しいものを①～④の中から一つ選び，番号で答えよ。

①　八丁原地熱発電所でつくられた電気は，地上の送電線を経由して大岳地熱発電所まで送られている。

②　黒岩山の山頂まではバスで登ることができる。

③　筋湯や大岳周辺は温泉地として利用されている。

④　黒岩山の西麓にはカールが発達している。

問２　図１において，地点Wの集水域に入らないのは地点ａ～ｆのうちどれか，記号をすべて選べ。なお，集水域とは雨水が流れ込む範囲を示す。

問３　表１は日本における2000年度から2020年度までの５年度ごとの水力発電および再生可能エネルギーの発電量の推移を示している。Ｘ，Ｙ，Ｚの組み合わせとして正しいものを①～⑥の中から一つ選び，番号で答えよ。

表１　日本の発電量の推移

（単位 100万kWh）

年度	水力発電	X	Y	Z
2000	96,817	-	3,348	109
2005	86,350	1	3,226	1,751
2010	90,681	22	2,632	4,016
2015	91,383	6,837	2,582	5,161
2020	86,310	24,992	2,114	8,326

『データブック　オブ・ザ・ワールド2023年版』により作成

①　Ｘ－太陽光発電，Ｙ－地熱発電，Ｚ－風力発電
②　Ｘ－太陽光発電，Ｙ－風力発電，Ｚ－地熱発電
③　Ｘ－地熱発電，Ｙ－太陽光発電，Ｚ－風力発電
④　Ｘ－地熱発電，Ｙ－風力発電，Ｚ－太陽光発電
⑤　Ｘ－風力発電，Ｙ－太陽光発電，Ｚ－地熱発電
⑥　Ｘ－風力発電，Ｙ－地熱発電，Ｚ－太陽光発電

問４　次の①～④はいずれも図１における三角点ｍ－ｎ間の地形断面図である。①～④のうち，標高と水平距離の縦横比が１：１をとる地形断面図として正しいものを一つ選び，番号で答えよ。①～④はいずれも標高は縦軸，水平距離は横軸で示され，その最大値と最小値はすべて等しい。なお，縦軸が示す標高の最小値は０ｍではない。

①

②

③

④

図２

地理院地図（標準地図）を基に作成した。

問５　図２から読み取れる鳴子川の流向はおおよそどの方角か。次の①または②を選び，その理由について簡潔に述べよ。理由は解答欄の枠内であれば字数は問わない。

①　鳴子川はおおよそ北から南へ流れている。

②　鳴子川はおおよそ南から北へ流れている。

図３

地理院地図（標準地図）を基に作成した。

問６　図３において，蔺牟田池と茶畑をあわせて写真を撮影したいと考えた際，撮影に適していないのは地点ｐ～ｓのうちどこか，記号をすべて選べ。なお，樹木を含めた植生の被覆状況は考慮しないものとする。

問７　図３から，蔺牟田池は火山活動によって形成された火山湖である。次の①～⑥の日本の湖のうち火山湖はどれか，数字をすべて選べ。

①　池田湖　　②　霞ヶ浦　　③　宍道湖

④　浜名湖　　⑤　琵琶湖　　⑥　摩周湖

問８　図３および地球環境に関する国際条約における以下の文章を読み，空欄 ㈠ ～ ㈡ にあてはまる適切な語句を答えよ。なお，空欄 ㈠ ～ ㈢ にはそれぞれ都市名が入る。また，空欄 ㈡ は漢字で解答すること。

藺牟田池はベッコウトンボを筆頭に絶滅のおそれのある種が棲息する湿地として，2005年に ㈠ 条約に登録されている。 ㈠ 条約は1971年に採択された国際条約で，1980年に加入した日本では ㈡ 湿原が最も早く登録された。野生動植物の保護を目的とした国際取引の規制には1973年に採択された ㈢ 条約がある。日本ではかねてから食用とされてきた動物が規制の対象として国際的に議論されてきた。特に大型の ㈣ 類は，資源量を推定するために北太平洋などで行われてきた捕獲調査が2018年に終了し，2019年７月から日本では商業用の捕獲が31年ぶりに再開された。

〔Ⅱ〕 第３次産業に関する以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

問１　図１は1950年，1980年，2008年の３時点におけるアメリカ合衆国，タイ，日本，フランスの産業構成を示している。図中のＡ～Ｄに該当する国名をそれぞれ答えよ。

図１　主な国における産業構成の推移

ILO STAT により作成

注：フランスとタイに関しては，1954年，1980年，2008年のデータを使用した。

問２　商業に関連し，図２は1991年～2014年における主な業態(コンビニエンスストア，専門スーパー，総合スーパー，百貨店)における年間販売額の推移を表している。図中のＥ～Ｈに該当する業態をそれぞれ答えよ。

図２　主な業態における年間販売額の推移(1991年～2014年)

商業統計および経済センサスにより作成

注１：1991年の値を1.00とする。

注２：スーパーおよびコンビニエンスストアとは売り場面積の50％以上でセルフサービス方式を採用している店舗である。また，専門スーパーとは衣・食・住関連など特定の種類の商品を販売し，それら特定の商品群が全体の70％以上を占める店舗である。

問３　商業に関連し，チェーン店方式の小売店舗が増加した要因はさまざまな観点から考えられる。それらのうち，商品の配送上の効率化と管理上の効率化(情報化に伴う商品の管理など)に関わる要因について，それぞれ答えよ。なお，解答欄内であれば字数は問わない。

問４　観光産業に関連し，表１は2018年における主な国の国際観光の収入と支出を表している。表中のＩ～Ｌに該当する国名(アメリカ合衆国，イギリス，タイ，フランス)をそれぞれ答えよ。

表１　主な国における国際観光の収入と支出(2018年)

単位：百万米ドル

国名	収入	支出	収支
Ｉ	214,700	144,500	70,200
Ｊ	56,400	12,100	44,300
Ｋ	65,500	47,900	17,600
韓国	18,600	35,100	－16,500
Ｌ	48,600	69,000	－20,400
ドイツ	43,000	95,600	－52,600
中国	40,400	277,300	－236,900

観光白書(令和２年版)により作成

問５　観光産業に関連し，図３は日本の旅行に関する国際収支の推移（1996年度～2022年度）を表している。1996年度においては大幅なマイナス（支出超過）であったのが，2014年度からプラス（収入超過）に転じている。収入超過に転じた要因について答えよ。なお，解答欄内であれば字数は問わない。

図３　日本の旅行に関する国際収支の推移（1996年度～2022年度）

財務省資料により作成

注：2022年度の数値は速報値

問６　教育産業に関連し，図４の⑴と⑵はそれぞれ都道府県別の学習塾の施設数（2018年）および年間売上高（2018年）と人口（2020年）の関係を表している。これらの図から学習塾の立地や経営，および両者の関係性について読み取れる事柄を答えよ。なお，解答欄内であれば字数は問わない。

⑴　都道府県別の施設数（2018年）　　⑵　都道府県別の年間売上高（2018年）

図４　都道府県別の学習塾の施設数・年間売上高（2018年）と人口（2020年）

特定サービス産業実態調査（2018年）および国勢調査（2020年）により作成

注：図中では，施設数⑴および年間売上高⑵それぞれの上位10都道府県の名称のみ記している。

地理

問７　教育産業に関連し，表２は主な国の高等教育における留学生の状況(2018年)を表している。表中のM～Ｐにはオーストラリア，中国，ドイツ，ベトナムが該当する。M～Ｐに当てはまる国名をそれぞれ答えよ。

表２　主な国の高等教育における留学生の状況(2018年)

国名	海外からの留学生の受け入れ		海外への留学生の派遣	
	留学生数(人)	留学生率(%)	留学生数(人)	留学率(%)
アメリカ合衆国	987, 314	5. 2	86, 111	0. 5
イギリス	452, 079	18. 3	39, 246	1. 6
M	444, 514	26. 5	13, 342	0. 8
N	311, 738	10. 0	122, 543	3. 9
カナダ	224, 548	13. 8	48, 268	3. 0
日本	182, 748	4. 7	32, 067	0. 8
O	178, 271	0. 4	997, 655	2. 2
P	7, 250	0. 4	108, 304	6. 4

UIS Stat により作成

注１：Ｐ国のデータは海外への留学生数以外は2019年の数値。

注２：受入国の留学生率は，その国の高等教育就学者に占める留学生の割合。派遣国(出身国)の留学率は，派遣国の高等教育就学者に占める他国へ留学する人の割合。

〔Ⅲ〕 中国に関する以下の問いに答えよ。解答は解答欄に記せ。

中国の人口は，国土の５割弱の面積の東部沿海部に約 (ア) 割が集中している。特に，チベット高原を源とする黄河や長江の下流域等に集中している。中国の面積は日本の約25倍，世界第 (イ) 位の広さであり，陸続きで国境を接する国の数は (ウ) である。人口の９割が漢民族で占められているが，(エ) の少数民族が居住する多民族国家である。1960年代までは出産が奨励されたことによって，急激な人口増加を招いた。その後，人口抑制政策(1)を強力に推し進めたことによって出生率は低下したが，人口構成(2)にかたよりが生じた。

他方，経済面では1978年ごろから (A) 政策などによる沿岸部への経済特区(3)の設立，2001年には (B) に加盟したことを契機に，豊富な労働力を背景にして工業生産(4)額は伸長し，活発な輸出と国内の経済成長が相まって2010年にはＧＤＰ世界第２位の経済大国となった。しかし，経済成長の過程で，沿岸部と内陸部，都市部や農村部との経済格差は大きくなり，格差是正のため大規模な地域開発(5)が実施された。

近年では，新たな貿易市場(6)の開拓や対外依存度の高い資源の安定確保，産業の海外移転，直接投資の受け入れを企図した (C) 構想が打ち出されている。

問１　文中の(ア)に当てはまる数値を①～④の中から選び，番号で答えよ。

①　6　　②　7　　③　8　　④　9

問２　文中の(イ)に当てはまる数値を①～④の中から選び，番号で答えよ。

①　1　　②　2　　③　3　　④　4

問３　文中の(ウ)に当てはまる数値を①～④の中から選び，番号で答えよ。

①　10　　②　14　　③　18　　④　22

問４　文中の(エ)に当てはまる数値を①～④の中から選び，番号で答えよ。

①　45　　②　50　　③　55　　④　60

問５　文中の(A)～(C)に当てはまる適当な語句を答えよ。

問６　下線部(1)に関して，1979年から一人っ子政策が実施されてきたが，近年になって問題が生じてきたためこの政策は緩和された。この問題とは何か，文章で説明せよ。

問７　下線部(2)に関して，図１はインド(2016年)，韓国(2018年)，中国(2020年)，日本(2020年)のいずれかの年齢別人口構成比を示したものである。日本と中国に当てはまるものを，①～④の中からそれぞれ選び，番号で答えよ。

図１　各国の年齢別人口構成比

『世界国勢図会2022/23』により作成

問８　下線部(3)に関して，経済特区に次ぐ開発地域として1984年以降に指定された経済開発地区を何と呼ぶか，語句で答えよ。また，経済特区との違いについて説明せよ。

問９　下線部⑷に関して，図２は業種別工業出荷額の多い品目を示したものである。Ｄ，Ｅ，Ｆに当てはまる正しい組み合わせを①～⑥の中から一つ選び，番号で答えよ。

図２　中国における業種別工業出荷額（2020年）

『世界国勢図会2022/23』により作成

①　Ｄ：化学工業・Ｅ：機械工業・Ｆ：金属工業
②　Ｄ：化学工業・Ｅ：金属工業・Ｆ：機械工業
③　Ｄ：機械工業・Ｅ：金属工業・Ｆ：化学工業
④　Ｄ：機械工業・Ｅ：化学工業・Ｆ：金属工業
⑤　Ｄ：金属工業・Ｅ：機械工業・Ｆ：化学工業
⑥　Ｄ：金属工業・Ｅ：化学工業・Ｆ：機械工業

問10　下線部⑸に関して，2001年から実施された地域開発名を答えよ。また，この地域開発の一環として，2006年７月１日に全通した路線距離約2,000キロメートルの鉄道名を答えよ。

問11　中国政府が1997年の香港返還，1999年のマカオ返還に際してとった政経分離の統治政策を何と呼ぶか，語句で答えよ。

（白　　紙）